

Nakamura Seiko



早稲田の
「ボブライ夫人」の
プロオベール

創作と云ふ仕事も、
翻訳と云ふ仕事も、
等しく自己の仕事であり、
自己の生活である

「翻訳と創作」より



A

迂闊に見ると何も無い

やうな所に、実は、

人間が承けつぎ

承けつぎして

来てゐる尊い宝が

ひそんでゐる 『文化は郷土より』より



E

梅郷の
女子大生
の題詞



C

熔岩の崩れの富士の裾は、

実に広漠たる

眺望である

「少年行」より



B

「少年行」の
題詞
早稲田文学
館増刊
早稲田文学
館増刊
早稲田文学
館増刊

開館35周年記念特設展 生誕140年・歿後50年

中村星湖展

2024年4月27日[土]~6月23日[日]

- A 早稲田大学在学中 1906年12月 22歳
- B 「早稲田文学」第18号 1907年5月
- C 留学中にパリのプロオベールの森にて 1929年2月 45歳
- D プロオベール著 中村星湖訳「ボブライ夫人」1916年6月 早稲田大学出版部
- E 杉並区の自宅にて 1970年12月 86歳



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

中村星湖

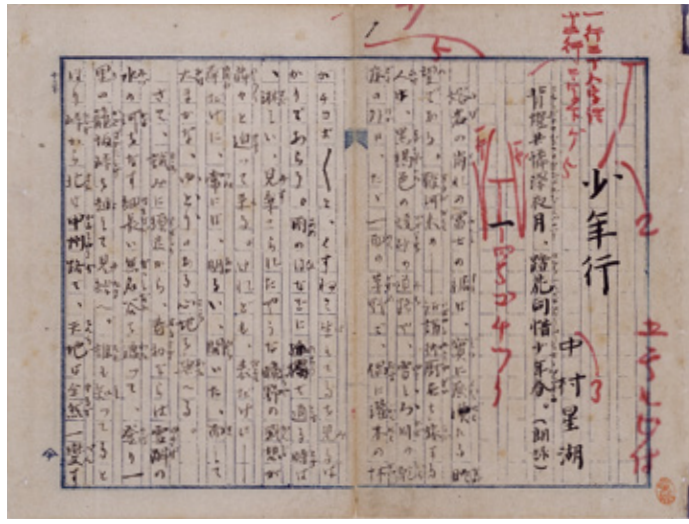
(1884~1974 山梨県富士河口湖町生

まれ。本名將爲は早稲田大学在学中に
 応募した「少年行」が一等に選ばれ、自然主義作家として知られ
 るようになりました。その後、フローベールやモーパッサンの作
 品を翻訳し、児童雑誌「赤い鳥」に童話を発表。さらに、民衆芸術、
 農民文学運動に関わる評論活動を展開しました。強い好奇心と
 探究心によって幅広い分野で活躍した90年の生涯を紹介します。



茅ヶ崎南湖院で療養中の国木田独歩を
 囲んで 1908(明治41)年5月24日

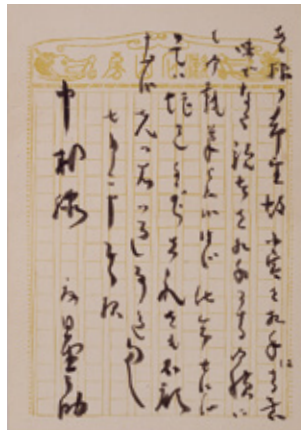
後列左から小杉未醒、岩野泡鳴、真山青果、
 吉江孤雁、中列前田晁、独歩、田山花袋、
 前列正宗白鳥、星湖、小栗風葉、相馬御風。



中村星湖「少年行」原稿 「早稲田文学」第18号 1907(明治40)年5月掲載
 「早稲田文学」懸賞長編小説の一等に当選した作品。選者は島村抱月と二葉亭四迷。
 富士山麓の美しい自然を背景に、主人公奈良原武と転入生宮川牧夫の友情と成長、
 別れを描いた。

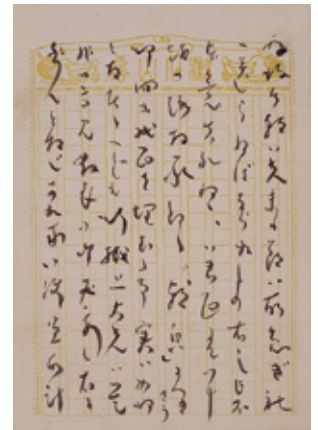
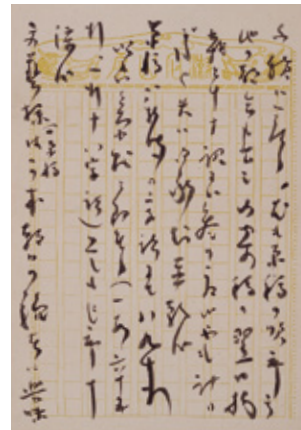


星湖が描いたパリの下宿の窓から見た風景 油彩
 1928(昭和3)年5月、フランス留学のため神戸から乗船し6月にパリ着。10月、本間久雄とチェコの国際民俗芸術会議に参加、11月、スイスにロマン・ロランを訪ねた。その他、ヨーロッパ各国を精力的に訪れ、翌年5月、帰路に就いた。



夏目漱石 星湖宛書簡 1911(明治44)年7月25日

「三田文学」に掲載された久保田万太郎の小説「朝顔」の評価をめぐる、漱石門下の小宮豊隆に対する反論を、「東京朝日新聞」芸芸欄へ寄せることを星湖が希望。芸芸欄創設者の漱石がそれを了解した手紙。漱石は、文字数を伝えた後、「小宮を相手にする意味でなく読者を相手にする御積にて御執筆被下候はゞ仕合せに候」と記している。



中村星湖
 『釣ざんまい』
 1935(昭和10)年8月
 健文社 装幀 丸野竹南
 釣りの歴史・精神から実際までを取めた随筆集。その後、開高健監修「釣の名著」の一冊として1977(昭和52)年にアテネ書房から復刻された。

休館日 月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
 開館時間 展示室 9:00~17:00(入室は16:30まで)
 閲覧室 9:00~19:00(土・日・祝日は18:00まで)

観覧料 常設展チケットでご覧いただけます。
 一般 330円(260円) 大学生 220円(170円)
 ※()内は20名以上の団体料金・県内宿泊者割引料金です。
 ※高校生以下の児童・生徒、65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方、及びその介護をされる方は無料です。

関連イベント

いずれも参加無料 講演会はHP・電話で、講座は電話でお申し込みください。

講演会 「中村星湖 自然主義文学の再評価の中で」

5月18日(土) 13:30~15:00 会場：研修室 定員：100名 講師：中丸宣明(法政大学教授)

講座(年間文学講座3) 「資料からみえる中村星湖の人と作品」

6月2日(日) 14:00~15:10 会場：研修室 定員：60名 講師：保坂雅子(当館学芸課長)
 ※講座は4月20日(土)より申し込み開始

閲覧室資料紹介 「もっと知りたい中村星湖」

中村星湖の著書や関連資料を紹介。資料は手に取ってご覧いただけます。
 4月26日(金)~ 6月23日(日) 場所：1階 閲覧室 *入場無料

交通のご案内

JR 中央本線甲府駅より

●甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由北斐崎駅・真川団地各
 行きバスで約15分。「山梨県立美術館」下車。
 ※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお
 調べいただけます。

●タクシーで約15分。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て、200m先を左折、
 西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、真
 川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

